

これまで見向きも
しなかった土地の
新たな活用方法!!



トレーラー ハウス

販売 事業

調整区域に設置可

1棟250万の利益



トレーラーハウスと出会ったことで、
調整区域や借地を活用できるようになりました！
既存事業の不動産賃貸や管理業務とも
相乗効果が狙えると確信しています！

丸七住宅株式会社 代表取締役 岩本敦行 氏

説明会
情報

2024年2月9日(金)
トレーラーハウス製造事業経営研究会説明会
場所：株式会社船井総合研究所 五反田オフィス
お問合せNo. S109193/K096785
Tel：03-6212-2931（平日9:30～17:30）
内容に関するお問い合わせ 河野 泰誠（カワノ タイセイ）
申込みに関するお問い合わせ 長田 彩果（オサダ アヤカ）



＜主催＞ 株式会社船井総合研究所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-6日本生命丸の内ビル21階
【JR「東京駅」丸の内北口より徒歩1分】

トレーラーハウス製造事業経営研究会事務局

E-mail: trailer-funai@funaisoken.co.jp

※お問い合わせの際は「説明会タイトル・お問合せNo
・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください。



2023年7月29日30日にグランドOPEN！

調整区域の新たな活用方法として、トレーラーハウスを持つことで提案の幅が広がりました！

丸七住宅株式会社 代表取締役 岩本敦行 氏

■ 本業との相乗効果を狙えると思い、興味を持ちました

弊社は愛知県の三河エリアを中心に不動産の売買や仲介、賃貸管理などを行う会社です。そんな時、2022年7月に株式会社船井総合研究所（以下、船井総合研究所）からDMが届き、トレーラーハウスというのを知りました。すぐにDMを読ませていただき、「**本業との相乗効果が狙える！土地活用の次の一手として使える！**」と思いました。**会社の周りには調整区域や建築不可の土地が多く活用に困っていたため、トレーラーハウスが解決の糸口になる**と思い、セミナーへの参加を決めました。



← 2022年7月のセミナーDM

■ 実物を実際に見て、事業のスタートを決めました！

セミナーを聞いた後、事業を始めるかどうかは、どうしても実物を見た上で判断したかったのですが、その時に船井総合研究所からすでにトレーラーハウス事業を取り組まれている会社で視察会があるという話を聞きました。すぐに参加を決め、視察会場の茨城県まで足を運びました。**2022年9月に開催された視察会では、モデルルームや事務所、製造場所(ヤード)を見学**しました。質疑応答の時間では、トレーラーハウス事業の営業担当に疑問点を全て回答していただき、漠然としていたトレーラーハウスの内容を頭の中で整理することができました。視察会の時間は4時間ほどでしたが、



↑ 視察会の様子

「**トレーラーハウス事業を始めよう！**」と決心しました！

■ 販売&営業ツールは全て準備されているのでとても安心

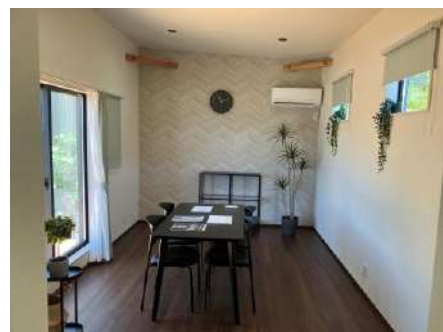
トレーラーハウス事業の立ち上げで必要となる、**HPやチラシ、商品パースなどの販促ツールや商品カタログ、概算資金計画書等の営業ツールは全て、船井総合研究所からいただくことができました。**すでにOPENしている会社が実際に使用しているツールのため、実用性は高く、制作に時間をかけずに済んだことはとても助かりました。



↑トレーラーハウスのパース素材、専用HP、OPEN時に配布したチラシ

■ 外国人研修生寮としての用途で3台を2023年12月に受注予定！

モデルルームは住居用途と事務所用途で2台用意しました。販促は折込チラシ2万部ほど、Google広告10万円のみで2023年7月のOPENを迎えましたが、15組の来場がありました。その後も月15組以上の来場が続いています。既に12月に契約をいただいた方もいらっしゃいます。**外国人研修生寮としてトレーラーハウスを活用したい、金属加工業の会社です。自社で土地を持っているのですが、調整区域のため、建築することができず、弊社にお問合せをしたそうです。1,300万円のトレーラーハウスを3台購入予定のため、法人がお客様の場合は複数台受注も可能**だと感じました。他にも自宅の庭にパン屋の工房を置きたいが、建築ができない土地のため、相談に来られた方もいました。土地は持っているが建築ができず、お困りの方が多く来場したため、このエリアでこれだけいるのかと驚きました！今後はトレーラーハウスのレンタル事業も展開していこうと考えています。自社の賃貸事業部ともうまく連携して、**調整区域や借地などに展開できれば、トレーラーハウスが新たな遊休地活用の手段になる**と思い、この先が非常に楽しみです！



■ 少ない初期投資で始められることに魅力を感じています

トレーラーハウス事業立ち上げに必要な準備が製造場所とモデルルーム、設置場所です。**製造場所は弊社グループ会社の倉庫兼加工ヤードが空いていたので、そこを活用しました。設置場所は運営しやすいということで店舗の横に決めました。**販促費はほとんどかけておらず、営業も私だけのため、リスクをそこまでかけずに事業を始められたことはとても良かったです。



↑製造場所(ヤード)の様子



勘の鋭い事業者が密かに始めている

トレーラーハウス事業

参入・成功のポイントがたった半日で分かる

株式会社船井総合研究所 住宅支援部
マネージング・ディレクター 日野 信

数ある中から本DMを手に取りお読みいただきありがとうございます。

株式会社船井総合研究所の日野信と申します。

おそらくこのDMをご覧いただいている皆様は、

住宅原価高騰による集客減や受注減の対策として、早期に次の柱となる事業をお探し、もしくはご検討中ではないかと思います。

結論から申し上げますと、

今回は“1日でトレーラーハウスが分かり、事業参入の可能性を模索できる

「トレーラーハウス製造事業経営研究会説明会」開催”のご案内をさせていただきます。

「メディアや巷で話題沸騰!! 住居や店舗で活用する方も」

特に意識的にアンテナを張っていた訳ではないですが、

この数年、テレビ各局でのニュース・情報番組やバラエティ番組で

トレーラーハウスに関する特集を私自身、次々と目にするようになりました。

用途はさまざま、住居・セカンドハウス・店舗・事務所・投資用・・・

多岐に渡る活用方法で、多くの方が利用され始めているとのことでした。

それでは、なぜ今そこまでトレーラーハウスが人気なのでしょう吗？

その要因に少しだけ触れていきましょう。

「トレーラーハウスだからこそそのメリットがあるから注目される」

トレーラーハウスが今、消費者の方々に注目されている理由を簡単にまとめさせていただきました。

建築が不可能な土地にも 設置可能

トレーラーハウスは一定の設置条件を満たすことで車両扱いとなり、建築基準法の適用を受けません。そのため市街化調整区域への設置も可能になり、立地計画の幅も広がります。土地購入資金や地代などのコストを抑えながら広いスペースを確保することや、自宅の庭先や限られたスペースを有効活用する場合などに非常に有利になります。

固定資産税が かからない

トレーラーハウスは、しっかりとした構造物でありながら、タイヤのついた移動可能な「車両扱い」の建物であり、エンジンがないという特殊な建物です。そのため、トレーラーハウスの設置や維持には基本的に不動産取得税や固定資産税などの税金がかかりません。

将来的に 移動や転売が可能

タイヤがあり移動が可能なので、何かしらの事情で設置場所の移転の際にも室内はそのまま次の場所に移動できます。

移動させてしまえばすぐに土地を更地に戻すことができるので、売却することも容易です。

上記のように、一見良いこと尽くしのように見えるトレーラーハウスですが、実際に製造～販売を国内で手掛けている企業は、中小～大手全て含めて70社ほどと言われております。つまり、実際には供給側が足りていない状況であるという点を言及させていただきます。

その中で今回は、実際に新規事業としてトレーラーハウスの製造・販売を始めた会社と直接お話しできる機会を設けさせていただきました。

ご興味ある方は是非「トレーラーハウス製造事業経営研究会説明会」にご参加ください。

2023年12月時点
【最新版】

トレーラーハウス製造事業経営研究会に参加したお客様の声

自社のパネル工場を活かせると思いました！



IDK株式会社
代表取締役社長
井出 克広 氏

トレーラーハウス事業は元々興味が有り、自社のパネル工場を製造場所として活用できるため、船井総合研究所からのDMがキッカケで参入を決めました。住宅事業を静岡県富士市・富士宮市中心に展開しているのですが、遠方から施工のお願いを頂く機会が多く、今までは断っていました。トレーラーハウスなら製造場所は1拠点のため、その点も魅力的だなと感じています。もしお客様がトレーラーハウスを購入できなくても、住宅建築に流す選択肢が

あることは住宅会社としての参入メリットの1つです。2024年1月下旬に高性能トレーラーハウス専門店F.T-BASEをオープンする予定のため、今は準備に追われています。オープンが楽しみです！

トレーラーは無数の可能性を秘めた事業です



株式会社波多野工務店
事業部長
川端 風見 氏

愛知県で住宅事業・不動産事業・エクステリア事業を展開しているのですが、選択肢を広げる住み方や事業の形に可能性を感じました。トレーラーハウスの可能性に最初は疑問を抱いていましたが、調査や実際の視察を経て考えが変わりました。用途や形を変えられる柔軟性に魅了され、新たな顧客層にアプローチできることに気づきました。これにより既存の顧客層に加え、新規の事業主や個人顧客との

つながりが広がり、提案の幅も広がりました。トレーラーハウスの多様な活用方法は事業の拡大と新たな接点をもたらし、無限の可能性を感じます。

OPEN前に契約することができました！



株式会社くらくらハウス
代表取締役
松下 勝司 氏

熊本から茨城へ実際のトレーラーハウスの視察をさせていただきました。10坪ほどの閉鎖的な建物をイメージしていましたが、実際に体感してみると、非常に広々とした設計デザインとなっており、この設計であれば住居として問題なく成立すると思えました。また、この設計であれば多岐にわたるニーズ・用途に応えることができ、新たなお客様と出会うことが可能になると感じています。

2023年12月2日3日にトレーラーハウス事業をオープンしたのですが、早速、建設会社の方からご相談を頂き、11月に契約することができました！

事前予約もかなり入っているため、万全の対策で当日に臨みたいと思います。

参入障壁は決して高くないと判断しました！



株式会社大柿産業
代表取締役
中本 修二 氏

新規事業を探る中でトレーラーハウスを知り、トレーラーハウスのメリットから投資商品としての需要があると思い、トレーラーハウス事業に興味を持ちました。そんな中で船井総合研究所からの案内をもらいセミナーに参加したところ、既存の事業との関連性も高く、自社なら参入障壁もそこまで高くないと思い急速に事業を進めていきました。OPENに向けて準備を進めている最中ですが、

トレーラーハウス事業には大いに可能性を感じていて、今後toB向けに大量受注を目指していきたいと考えております。既存の従業員の再活躍の場としても、トレーラーハウス事業が役立ってくれると信じています。

事業再構築補助金が採択され事業スタートです！



株式会社圓屋
取締役
東 慎也 氏

新たに購入した倉庫の費用回収をどうすべきか悩んでいた時、銀行の担当者から事業再構築補助金を勧められました。倉庫には事務所スペースがないため、トレーラーハウスの話を聞き、モデル兼事務所にできると確信しました。調べてみると、事業再構築補助金を活用してトレーラーハウス事業を展開した事例は全国で20件近くありました。トレーラーハウス事業を検討し始めてから感じたことは、地元でカフェ用途や事務所用途として設置されており、

身近にトレーラーハウスがあったということです。災害が起きた時などは行政と協力しながら社会性のビジネスとして地域に提供できればとも思っております。

新たな事業として走り始めました！



株式会社秋田ホーム
代表取締役社長
嶋内 善裕貴 氏

セミナーでは、土地と建物が別々に売れる、調整地や借地でも設置できる等住宅にはない発想の展開が可能といったところに魅力を感じました。実物は想像していたよりも広くて居住空間として問題ないレベルでした。わからない話をたくさん聞けたのでとても有意義な時間になりました。原価の高騰・人口の減少などを考えると、今後、新築注文住宅だけに頼るのは限界を感じ始めているところでした。

新築・中古住宅・リフォームなどに代わる第4の提案として可能性を感じます。2×4パネル工場を持っている弊社とも相性がよく、強みを生じて新しい事業の柱に育てていきたいと考えております。

まだまだ続く!! ご紹介しきれないお客様の声が多数!!

沖縄県のI社

以前より気にかけていたので、わかりやすいセミナーで良かったです。検討したいと思います！

愛媛県のM社

当方の地域にて許認可及び陸送協力会社の手配の懸念は有るものの、是非前向きに検討させていただきたい内容です。

島根県のA社

少し地元の金融機関の対応など調べてみる必要があると思いましたが、災害用などに可能性を非常に感じました。

愛知県のH社

新たなビジネス事業として模索していた内容でした！実際のトレーラーハウスを見て、実施を決めたいと思います。

京都府のS社

大変勉強になりました。セミナーで話されていた、YouTubeを使った周知方法を実践しようと感じました。

福島県のF社

トレーラーハウスのメリット・デメリットなどが分かり、参考になった。もっと詳しく話を聞いてみたい！

福岡県のA社

とても興味がありましたので、今度、自社でも導入可能かどうかご相談させていただきます。

新潟県のO社

トレーラーハウスの制作に関する技術的なお話をもっと聞いてみたい。同じ形態で実践してみたいと思います。

トレーラーハウス製造事業経営研究会のご案内

会員同士のノウハウ共有こそが、 **成功への最大の要因**

トレーラーハウス製造事業経営研究会では、実際に成功した方法を会員同士で共有し合うことに焦点を当てています。全国で実際にトレーラーハウスに取り組んでいる会員とぜひ交流してみてください。そして、研究会で得たノウハウで次に成功体験を味わうのは、このDMをご覧になられているあなたです。

▼トレーラーハウス製造事業経営研究会のご様子▼

ゲスト講座



情報交換会



船井総合研究所講座



当日公開予定！

**最短最速でトレーラーハウス事業を
立ち上げるツールもお見せします！**

【追伸】

このご案内は全国の住宅・不動産会社に一斉送信しているわけではありません。

今回のご案内は事前にHP等を拝見させていただき、

トレーラーハウス事業に参入すればすぐに地域の注目の的になるであろう、そんな企業に絞って、
お送りさせていただいております。



トレーラーハウス製造事業経営研究会のご案内

日時：2024年2月9日（金）
10:30～16:30※受付開始時間 10:00～
場所：〒141-8527
東京都品川区西五反田6-12-1
[JR「五反田駅」西口より徒歩15分]

費用：**無料**（先着5社限定）



QRコードから
お申込み可能です！
お申込み締切日:2024年2月5日(月)23:59まで

■詳細案内

日時	2024年2月9日（金）10:30～16:30（受付開始10:00～）	
内容 ※休憩は随時 お取りします。	10:30～12:00 ◆トレーラーハウス製造事業経営研究会説明会 ▪ トレーラーハウス製造事業経営研究会についてのご説明 ▪ ビジネスモデル解説講座 アメリカなどでは以前から流行っているトレーラーハウスがついに日本へ上陸。 TVなどで注目され始めているトレーラーハウスの動向について解説いたします。 ▪ 事例講座 全国初のトレーラーハウス専門店を立ち上げた丸七住宅株式会社の 事例をご紹介します。	
	13:00～16:30 ◆トレーラーハウス製造事業経営研究会（無料お試し参加） ▪ トレーラーハウス製造事業に取り組む会員同士の情報交換会 ▪ 船井総合研究所講座	
費用	無料 （先着5社限定）	研究会説明会は受講料無料でご参加頂けます。 1社2名様まで1回限りのご参加が可能です。

■お問い合わせ

トレーラーハウス製造事業経営研究会事務局
Tel: 03-6212-2931（平日9:30～17:30）
E-mail:trailer-funai@funaisoken.co.jp
内容に関するお問い合わせ 河野 泰誠（カワノ タイセイ）
申込に関するお問い合わせ 長田 彩果（オサダ アヤカ）

●諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はメールにてご確認ください。また最小催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。
尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。
●お申込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合は、開催4日前までにご連絡ください。
●ご参加を取り消される場合は、開催3日前まではマイページよりキャンセルをお願い致します。
それ以降は事務局宛にメールまたはお電話にてご連絡ください。
●本説明会は経営者・事業責任者向けの会となります。お申込みいただいた企業様には、詳細を確認させていただきご参加の可否につきまして弊社より改めてご連絡申し上げます。
●本研究会を有効活用していただく目的で、受講前に弊社コンサルタントによる事前ガイダンスを実施しております。
事前ガイダンスをお受けいただけない場合、説明会へのご参加をお受けしかねる場合がございますのでご了承ください。